

福祉の

まちづくり

津山新星会議 佐々木 裕子



質問 子どもの軽度発達障害が増え、療育は更に必要になってきているが現状は。

答弁 現在神南備園で旭川児童院の協力を得て行っている。待機者もいる状況ですが人数は百二十五人、述べ千五百五十六人の訓練と相談を実施している。スタッフの充実と施設整備が課題と認識している。

に移行するので合併特例債を利用して療育施設の新設を考えてはどうか。

答弁 現在療育事業を行っている中央公民館の改修で対応したい。

質問 車いす駅伝大会は「福祉のまちづくり」に役割を果たしてきたが、次のステップを目指し見直しは。

答弁 来年は岡山国体もあり、関係者に負担もかかるので、関係団体と協議し、今後検討していきたい。

入札ブロック制、合併前に廃止を

津山再生クラブ 河本 英敏



質問 市いくら中心市街地のためと再三にわたってアルネへ市民の血税をたれ流して来て、市民に十分な説明がないまま、市長はこの責任をどうとる。この議場にいる誰一人として、責任つまり投入されたお金をよぎんに負担する者はいない。

答弁 中心部にかつての賑わいを取り戻すことが市長としての私の責任、大局的に見て公益につながり市民の利

益につながる。
質問 ブロック制を合併に合わせ見直しを考えると前任者は答弁しているが談合の温床となっているブロック制度は新市になる前に廃止すべき。

答弁 ブロック制は地域の工事を地元施工者に発注することで、目に見える施工ができるメリットがある。現状の継続要望が強い。

ごみ最終処分場建設は安全か

日本共産党津山市議員 末永 弘之



質問 綾部へのごみ最終処分場建設予定地として民間産業廃棄物処分場を購入の為に、金額白紙の「債務負担行為」が提案されているが、一年前も同様のことがあり、予算を流してしまった。そんな事ではないのか。また、地元には「安全性に疑問あり」と反対する意見が根強いわけで、予算を決めることで反対者の意見を封殺してしまうことにならないか。

答弁 今回はほぼ関係者の了解をもらっての提案。安全性については万全の態勢で望み国の基準値以下の安全施設を造る。反対者とは理解をしてもうように話し合っていきたい。

質問 市町村合併に伴う議案の幾つか、議会最終日になるのはどうしたか。

答弁 市町村との協議が残されており、ご迷惑を掛けますが、よろしくご判断下さい。

中心部と周辺部のバランスを取るべき

津山新星会議 野村 昌平



質問 中心市街地と周辺部のバランスのとれたまちづくりが大切と思うが。また、新市発足に伴う計画書等は。

答弁 新市においては地域特性を尊重しながら、均衡と一体性ある都市を目指す。そのためには、都市機能、生活機能の適正配置に努め、それぞれの市町村の地域資源を活かし連携しながらバランスのとれ

た産業圏を形成する必要があると考える。
平成十七年度は新市のマスタープランとなる「次期(第四次)総合計画」策定の年であり、他にも過疎地域自立促進計画の策定、高齢者保険福祉計画や介護保険事業計画の見直しを予定している。素案はインターネットで公表し「パブリックコメント」導入の予定。